

阪神・淡路大震災20年事業・行政と民間との協働事業  
International Youth Summit in Hyogo 2015 「防災と環境」  
「学び合い、助け合い、未来へ向けて行動を起こす」

目 的

海外と日本の中学生・高校生たちが、防災に関する国際会議等を行い、国内外における先進的で素晴らしい防災教育・活動を学ぶとともに、様々な自然災害がもたらす環境被害や諸問題について若者ができる事、すべき事を考え発信する。

日時： 平成27年3月26日（木）～28日（土）

会場： 3月26日 オープニング（兵庫県立舞子高等学校）  
異文化交流（場所：海外移住と文化の交流センター）  
同月27日 国際会議（ニチイ学館ポートアイランドセンター）  
同月28日 国際会議（ニチイ学館ポートアイランドセンター）

参加者 約50人

- ・海外からの学生・教員等  
台湾、韓国、エジプト、ギリシャ、アメリカ（予定）
- ・日本国内 中学生、高校生

参加費 15,000円（26日、27日宿泊、26日夕食～28日昼食込）

申込方法： 申込 URL: <https://ssl.form-mailer.jp/fms/5511e47b332557>

上記 URL にアクセスして学校名・参加者数・連絡先を明記の上お申し込みください。

学校単位でお申し込みの場合、学校につき2～5名でお申し込みください。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。予めご了承ください。

内 容

- 事前交流学习活動
- 防災学習の見学（3月26日、兵庫県立舞子高等学校）  
全国唯一の防災学科を取り入れている兵庫県立舞子高校の防災学習を見学し、日本の防災教育の現場を国内・海外の生徒たちに触れてもらい、防災教育活動の輪を広げていく。
- 異文化交流（3月26日、海外移住と文化の交流センター）  
防災学習を含め今後の活動を活発にしていくため、食や伝統など地域文化を通

した催しを行い交流を深める。

○ 国際会議「災害を乗り越えて」

(3月27日・28日、ニチイ学館ポートアイランドセンター)

(初日)

- ・防災と環境に関する講演の実施(防災・環境分野に精通した専門家)
- ・発表会・意見交換会

それぞれがこれまで取り組んできた活動や学びについて、発表や意見交換を通じて「防災と環境」に関する学習を深める。

(2日目)

- ・活動経験の報告(防災・環境分野で活動している者・団体)
- ・ディスカッション

初日に行った発表や意見交換を踏まえ、グループ毎に「若者ができること、すべきこと」を考える。

※事業終了後も iEARN の交流フォーラムや ICT(通信交流技術)を活用し、「若者ができること、すべきこと」に関する活動を継続していく。

主催： IYS 実行委員会、

(特活) グローバルプロジェクト推進機構、兵庫県立舞子高等学校

助成： ひょうご安全の日推進県民会議、(公財) 兵庫県国際交流協会

(公財) 日本教育公務員弘済会

後援(申請中)

文部科学省、外務省、兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、  
(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構